

# 本の森 11月号



November

丹波篠山市立中央図書館通信 No. 206 2022年11月1日 発行

今月の特集

## 「冬じたく」

空気が冷たく乾燥し始め、寒暖差が激しくなり、冬の気配を肌で感じる候となりました。今年の立冬は11月7日。秋が極まり冬の気配が立ち始める日、暦の上では冬が始まります。

今月の特集では、深まっていく秋や近づく冬に向けて、観光・食・体調管理や防寒など、この季節の参考になる本を集めました。

## 『わくわくほっこり にじゅうしせっき 二十四節気を楽しむ図鑑』

君野 倫子 著 二見書房 449.34 キ



世界に四季のある国はたくさんありますが、日本にはさらに、「二十四節気・七十二候」という季節があります。

本書は、ロサンゼルス在住で、日米を行き来しながら日本文化を海外へ発信する活動をしている著者が、日本の一番の魅力と考えている四季折々の行事や風物詩を二十四節気ごとに写真を添えて紹介しています。

11月の節気は立冬と小雪です。立冬では七五三の起源や酉の市・冬支度について、小雪では、旬のものとしてれんこんや水仙の花などが掲載されています。

著者が提案するように、日本ならではの繊細な美意識に基づいた古き良き文化を、現代の感覚で気軽に楽しんでみませんか？

(河南)





マークデザイン  
加藤昌男

# 『歩きながら考える』

ヤマザキマリ 著 中央公論新社 914.6ヤ

著者は、映画「テルマエ・ロマエ」の原作者で、家族の住むイタリアと東京を行き来する「旅する漫画家」として知られています。移動すること、旅に出かけることが、精神的な栄養供給源と自負していた彼女が、コロナウィルスの世界的流行下で、東京に残り1人で書いたのが前著『たちどまって考える』でした。

続編とも言うべき本書では、著者は意外と自分に適応能力があったことに驚き、どこかへ行かねばという焦りから脱していました。再び歩き始めた彼女は、常識にではなく、良識に従って疑う視点を身につけることを勧めています。また、パンデミックの後にルネサンスがきたという歴史の流れから、蓄えられつつあるエネルギーから人間が新たな文化を創造する未来を予見しています。（栗田）

文学の  
棚から



# 『転身力 「新しい自分」のを見つけ方、育て方』

くすのき あらた  
楠木 新 著 中央公論新社 159.4ク

近年よく耳にする『人生100年』というフレーズは、すでに現実味を帯びています。更にコロナ禍の影響などで、人々の生き方や働き方は大きく変わりつつあるようです。

本書では神戸市生まれの著者が、『転身力』というキーワードのもと中高年で転身（キャリアチェンジ）したアスリート・タレントなどの著名人、一般人への取材も含め多くの事例を紹介しています。

人生100年というこの時代を、“誰もが人生二毛作、三毛作を楽しめる豊かな時代だ”と前置きしたうえで、「転身するのに特別な技術は要らない。でも、ちょっとしたコツはありそうだ。さまざまな人たちの事例を知り、それを自分に重ね合わせてヒントを得ることで、自分だけの物語が見えてくるかも知れない」と説いています。（酒井）

一般書の  
棚から



レファレンスの  
棚から

## レファレンスの こんねん レファレンス(調査依頼)がありました 「篠山『県』について知りたい」

「篠山町百年史」(B1/O1/サ)によると、明治4(1871)年7月に始まった廃藩置県の際、方針の定まっていなかった政府は、まず旧藩をそのまま県としたため篠山藩は篠山県となりました。この時、旧藩の治めるところが県になったので、亀岡藩領だった現丹波篠山市東部の安口・西野々・原山は亀岡県に編入されました。

同年11月には前述の3集落を含む丹波・丹後・但馬地域などからなる広大な豊岡県が設けられ、その後明治9(1876)年に現在の県域となり、篠山地域は兵庫県の一部となりました。（西澤）

# Y onde Mite

よ ん で み て

『Y onde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『最後の鑑定人』  
岩井 圭也 著 Fイワ  
2022.07 出版



民間の鑑定所を開設した元科捜研の異端児・土門誠。無駄を嫌い、余計な話は一切しないという奇人だが、群を抜いた能力により依頼される不可解な事件を科学の力で解決していく。

主人公の理知的なところに魅かれます。

ペンネーム cat no no

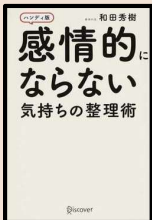
『みぞれ』  
重松 清 著 BFシゲ  
2008.07 出版



思春期の悩みを抱える十代。社会に出て初めての挫折を味わう二十代。仕事や家族の悩みも複雑になる三十代。生きる苦みを味わう四十代——。人生折々の機微を描いた短編小説集。おすすめです。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『感情的にならない  
気持ちの整理術』  
和田 秀樹 著 141.6ワ  
2017.01 出版



和田式勘定整理術の「ベスト版」。気分が上向きになるとまちがいなし

ペンネーム むらさき式部

『<sup>こしやく</sup>五色の殺人者』  
<sup>せんだりお</sup>千田 理緒 著 Fセン  
2020.10 出版



高齢者介護施設で働くメイはある日、利用者の撲殺死体を発見した。五人が、犯人と思しき人物を目撃するが……

ミステリ好きな方はぜひ！  
一気読みまちがいなしです!!

ペンネーム ミステリ好き

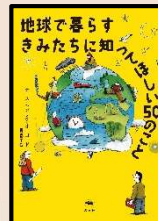
『娘の結婚』  
小路 幸也 著 Fシヨ  
2013.07 出版



妻の死後、娘を大切に育ててきた主人公。娘の結婚相手に会う決心がなかなかつかない……サラッと読めるお話ですが最後は“うるっ”としました。

ペンネーム YOU

『地球で暮らすきみたちに  
知ってほしい50のこと』  
ラス ヘンリック オーゴード 著  
034.97 オ 2021.08 出版



自然、動物のことから人間の発明や社会の問題、人生についてまで。子どもも大人も身につけたい、デンマーク発の「科学教養」の本。

ペンネーム COSMOS



# 映画上映会のお知らせ

入場無料  
申し込み不要

## 「スパイダーマン ファー・フロム・ホーム」

2020年 アメリカ 129分

■監督 ジョン・ワッツ

■出演 トム・ホランド ほか

■日時 11月11日(金) 14:00 ~ 16:10  
11月12日(土) 15:00 ~ 17:10

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

ヨーロッパでの研修旅行を楽しむピーター（スパイダーマン）だったが、ヴェネツィアに巨大な怪物（エレメンタルズ）が出現、さらに別次元の地球のヒーロー、クエンティン（ミステリオ）が現れる。彼は故郷を滅ぼしたエレメンタルズを倒すため、共闘を申し出てきた。

ピーターは旅行を満喫するため、戦うことを拒むが・・・。

## 図書館カレンダー



## 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 休	2	3	4	5
6	7 休	8	9	10 図書館の日	11	12
13	14 休	15	16	17	18	19
20	21 休	22	23	24	25	26
27	28 休	29	30 休	秋の収穫祭		

### 【中央図書館】

- ★「ささよう展」  
展示ホール：10/28(金)～11/4(金)
- ★「消防絵画コンクール展」  
展示ホール：11/9(水)～11/16(水)
- ★「映画上映会」  
視聴覚ホール：11/11(金)・12(土)
- ★「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」  
全館：11/10(木) 終日
- ★「<sup>まなび</sup>絵画教室学美隊 作品展」  
展示ホール：11/17(木)～11/25(金)

※イベントは行わない場合があります

## “Twitter” 始めました！

市広報やホームページでしか得られなかった図書館の情報。よりタイムリーな情報提供のために、Twitter アカウントを開設し運用を始めました。

おすすめの本やイベント情報、企画コーナーの紹介など図書館の『旬』を発信します。

[https://twitter.com/sasayama\\_lib](https://twitter.com/sasayama_lib)



フォロー  
してね!!

